

第4回ドキュメント

4th Competition Result

第4回大会 (2006.9.13~16)

第4回大会は、2006年9月13日~16日にエコパ(小笠山総合運動公園)で開催された。120を超える企業、団体からのスポンサーを得て、エントリーチーム52チーム、当日の参加は海外4チームを含め、50チームとなった。参加者は大会スタッフ268名、チームメンバー1,029名、プレス関係者、一般見学者を含めると約2,000名の規模の大会になった。また、記念すべき第1回のFISITA Formula SAE World Cupを兼ねての大会となった。

大会1日目。天候曇り。初日の車検は、最大の難関である技術審査を27チームが通過し上々の滑り出しとなった。静的審査は、コスト審査、デザイン審査が芝生広場のテントで行われ、プレゼンテーション審査はエコパアリーナで行われた。

大会2日目。天候雨のち曇り。前夜から降り続いた雨の影響で、アクセルレーション、スキッドパッドのスタートが見送られたが、天候の回復とスタッフの懸命なコース整備により10時30分に審査をスタートした。アクセルレーションに望んだチームは30チーム、スキッドパッドに望んだチームは24チーム。午後は、午前中新たに車検を通過したチームを加え、36チームがオートクロスに臨んだ。

大会3日目。天候曇り。動的審査のメインイベントのエンデュランスが予定通り朝8時にスタートした。この日と大会最終日の午前中にまたがって行われた審査に臨んだチームは35チーム。22kmというタフな走行にリタイアも続出したが、24チームが完走した。

大会最終日。天候晴れ。エンデュランスの2日目が行われ、初日のデザイン審査で選ばれた6チームによるデザインファイナル審査が行われた。優秀チームの設計内容を聞こうと多くのチーム関係者が熱心にメモを取りながら審査の様子を見学していた。また、静岡県石川知事もお越しになり、大会を熱心にご観戦いただいた。全ての審査が終わった午後、チームメンバー、大会スタッフ、関係者全員による総勢約1,200名による集合写真を撮影し、会場をエコパアリーナに移して表彰式を行い、今年の大会の幕を閉じた。



【1位】
上智大学



【2位】
名古屋大学



【3位】
University of Michigan - Ann Arbor

- 4位 東京電機大学
- 5位 宇都宮大学
- 6位 立命館大学
- 7位 日本大学理工学部
- 8位 東京大学
- 9位 国土館大学
- 10位 千葉大学
- 11位 金沢大学
- 12位 横浜国立大学
- 13位 静岡大学
- 14位 京都大学
- 15位 武蔵工業大学
- 16位 大阪市立大学
- 17位 名古屋工業大学
- 18位 岡山大学
- 19位 Korea University of Technology and Education
- 20位 東京理科大学
- 21位 芝浦工業大学
- 22位 神奈川工科大学
- 23位 首都大学東京

- 24位 工学院大学
- 25位 近畿大学理工学部(大阪)
- 26位 University of Ulsan
- 27位 信州大学
- 28位 神戸大学
- 29位 茨城大学
- 30位 早稲田大学
- 31位 慶應義塾大学
- 32位 ホンダテクニカルカレッジ関東
- 33位 大阪大学

- 34位 同志社大学
- 35位 大同工業大学
- 36位 静岡理科大学
- 37位 名城大学
- 38位 千葉工業大学
- 39位 東京農工大学
- 40位 東海大学
- 41位 九州工業大学
- 42位 明星大学
- 43位 高知工科大学

- 44位 福井工業大学
- 45位 Southern Taiwan University of Technology
- 46位 ものつくり大学
- 47位 豊橋技術科学大学
- 48位 福井大学
- 49位 日本大学生産工学部
- 50位 岐阜大学